

私の秋送り2023

横尾山山腹 野路菊の丘で 2013.11.22.



兵庫県の花「野路菊」
花言葉は「真実」
山裾の崖や道端にそっと咲く花
気取らず、ありのままの姿の親しさ

諸魂日のある11月の下旬 須磨の海や西神戸を遠望する横尾山山腹の野路菊の丘を真っ白にして
野路菊の花が咲きだすと丘に登って先に逝った先輩諸氏や友人仲間を思い浮かべつつ、
ひとときを過ごす毎年の「私の送り」。

11月20日快晴 眼下に広がる須磨の海・西神戸の街を眺め、唄を口ずさみつつの秋送り

2023.11.20. Mutsu Nakanishi





諸魂日のある11月の下旬
須磨の海や西神戸を遠望する横尾山山腹
野路菊の丘を真っ白にして
待ち兼ねた野路菊の花が咲きだしました

2023.11.20. 須磨横尾山腹 野路菊の丘で Mutsu Nakanishi



2023.11.20.-25. 須磨横尾山腹 野路菊の丘で Mutsu Nakanishi



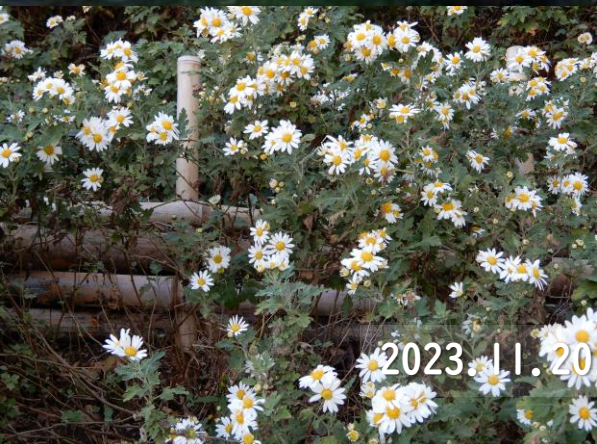
私の秋送り2023

諸魂日のある11月の下旬

須磨の海や西神戸を遠望する横尾山山腹の野路菊の丘を
真っ白にして花が咲きだすと丘に登って先に逝った先輩
諸氏や仲間を思い浮かべつつ、ひとときを過ごす。

「私の送り」

11月20日快晴の横尾山腹 野路菊の丘に登り、秋送り
2023.11.22. Mutsu Nakanishi



2023.11.20.-25. 須磨横尾山腹 野路菊の丘で Mutsu Nakanishi



2023.11.20. 須磨横尾山腹 野路菊の丘で Mutsu Nakanishi
明石海峡・淡路島遠望



2023.11.20. 須磨横尾山腹 野路菊の丘で Mutsu Nakanishi
眼下にながめる明石海峡・淡路島遠望



兵庫県の花「野路菊」
花言葉は「真実」
山裾の崖や道端にそっと咲く花
気取らず、ありのままの姿の親しさ
そっと寄り添ってくれる小菊

本年は80代を迎え、老いが進む中 人恋しく
今 健康でいることに感謝しつつ、
先に逝った人たちへの思いはひとしお

放浪の歌

♪ そんなにお前はなぜ嘆く
草のしとねに寝ころんで
私の言うことお聞きあれ
人の浮き世の見栄を捨て

♪ 口笛吹いて気を晴らせ
うつつの夢を見ていやれ
くたびれ休みに山を見て
腹が減ったらまた歩け

もしとつ減ったら・・・
・・・・・・・・・・

惜別の歌

♪ 遠き別れに耐えかねて
この高樓に登るかな
悲しむなかれ 我が友よ
旅の衣を ととのえよ

♪ 別れを言えば昔より
この人の世の常なるを
流るる水を眺むれば
夢恥ずかしき涙かな

♪ 君がさやけき眼の色も
君 虹の唇も
君が緑の黒髪も
またいつか見ん この別れ



野路菊2023 須磨横尾山腹 野路菊の丘 2023.11.20.-25.



野路菊2023 須磨横尾山腹 野路菊の丘 2023.11.20.-25.



野路菊2023

須磨横尾山腹

野路菊の丘

2023.11.20.-25.



2023.11.20. 須磨横尾山腹 野路菊の丘で Mutsu Nakanishi



野路菊2023 須磨横尾山腹 野路菊の丘 2023.11.20.-25.

兵庫県の花「野路菊」
花言葉は「真実」
山裾の崖や道端にそっと咲く花
気取らず、ありのままの姿の親しさ
そっと寄り添ってくれる小菊です

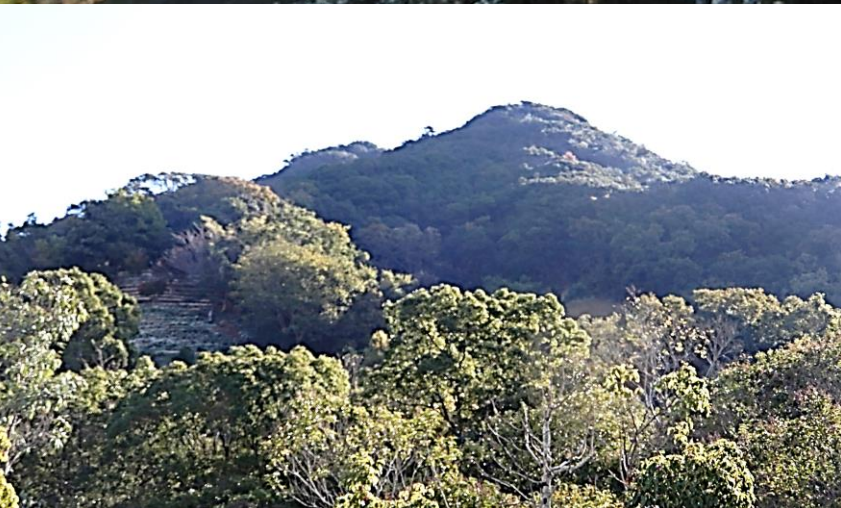


野路菊2023

須磨横尾山腹

野路菊の丘で

2023.11.20.-25.



2023.11.20. Mutsu Nakanishi



2023.11.20. 須磨横尾山腹 野路菊の丘で Mutsu Nakanishi
眼下にながめる明石海峡・淡路島遠望



紅葉 横尾道から眺める横尾山山腹2023.11.25.



紅葉し始めた横尾道から眺める横尾山山腹 野路菊の丘 2023.11.25.



紅葉し始めた横尾道で 青空にトンビがくるりと輪を描いた 2023.11.25.



横尾山山腹上の横尾道から眺める須磨海岸の西六甲西端の山並 2023.11.25.

兵庫県の花「野路菊」
花言葉は「真実」
山裾の崖や道端にそっと咲く花
気取らず、ありのままの姿の親しさ
そっと寄り添ってくれる小菊です



野路菊2023

須磨横尾山腹

野路菊の丘で

2023.11.20.-25.

私の秋送り2023

横尾山山腹 野路菊の丘で 2013.11.22.



兵庫県の花「野路菊」

花言葉は「真実」

山裾の崖や道端にそっと咲く花

気取らず、ありのままの姿の親しさ

放浪の歌

♪ そんなにお前はなぜ嘆く
草のしとねに寝ころんで
私の言うことお聞きあれ
人の浮き世の見栄を捨て

♪ 口笛吹いて気を晴らせ
うつつの夢を見ていやれ
くたびれ休みに山を見て
腹が減ったらまた歩け

もしとつ減ったら・・・

・・・・・・・・・・

惜別の歌

♪ 遠き別れに耐えかねて
この高楼に登るかな
悲しむなかれ 我が友よ
旅の衣を ととのえよ

♪ 別れを言えば昔より
この人の世の常なるを
流るる水を眺むれば
夢恥ずかしき涙かな

♪ 君がさやけき眼の色も
君 虹の唇も
君が緑の黒髪も
またいつか見ん この別れ

私の秋送り2023

横尾山山腹 野路菊の丘で 2013.11.22.

本年は80代を迎え、老いが進む中 人恋しく
今 健康でいることに感謝しつつ、
先に逝った人たちへの思いはひとしお

放浪の歌

♪ そんなにお前はなぜ嘆く
草のしとねに寝ころんで
私の言うことお聞きあれ
人の浮き世の見栄を捨て

♪ 口笛吹いて気を晴らせ
うつつの夢を見ていやれ
くたびれ休みに山を見て
腹が減ったらまた歩け

もしとつ減ったら・・・
・・・・・・・・・・

惜別の歌

♪ 遠き別れに耐えかねて
この高楼に登るかな
悲しむなかれ 我が友よ
旅の衣を ととのえよ

♪ 別れを言えば昔より
この人の世の常なるを
流るる水を眺むれば
夢恥ずかしき涙かな

♪ 君がさやけき眼の色も
君 虹の唇も
君が緑の黒髪も
またいつか見ん この別れ

時代が大きく変わる転換期、ゆっくりとひと時を過ごすことができ
ました 先に逝った先輩諸氏・仲間・知人
みんな みんな ありがとう

God be with You!! & You Raise Up Me!!

2023.11.22. From Kobe Mutsu Nakanishi